

お取引様 各位

お客様アンケートご報告

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。
毎々格別のお引き立てを賜り、ありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、この度はご多忙の中、弊社業務に関するアンケート調査にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

11月分アンケート調査の結果について集計致しましたので、いただきましたご意見の一部をご紹介します。

ご意見①

「清掃をした際に施工してもらったコーキング剤
が取れる事があるのですが・・・。」

申し訳ありません。弊社のコーキング剤はゴキブリの習性に基づいて様々な箇所に細かく施工しております。
その際に施工した箇所の材質や塗布具合によって、取れてしまう事も稀にあります。弊社としましては、今後より取れにくい様にコーキング剤の質、施工技術の向上に努めてまいります。
また、多少取れてしまう事も配慮して、細かく補える様に施工しておりますので、ご安心ください。

ご意見②

「細かい状況や注意しなければいけない点など
教えていただくと助かります。」

承知致しました。
弊社では施工後のご説明や報告書にて改善提案をさせていただいております。ゴキブリ駆除はただ薬剤を処置すれば良いわけではありません。例えば厨房等の什器下にゴミが溜りやすい環境ですと、ゴキブリはゴミを巣や餌にし、弊社のコーキング剤の効果が十分に発揮できません。
発見したゴミは徹底的に掻き出した上で、お客様にご報告させていただいております。ぜひゴキブリが発生しづらい衛生的に良好な環境をお客様と築いていければと考えております。
今後よりお客様にお伝えさせていただきましますので、よろしくお願い致します。

ご意見③

「外から入ってくる虫に対しての対策があると嬉しいのですが・・・。」

建物は通気性等の為に完全に密閉された造りになっておらず、外部から侵入する虫を完全に防ぐのは難しいところです。
しかし、弊社ではムカデやアリの侵入対策として建物外周に処置する粉剤、飛来虫の侵入にはムシボン(捕虫器)、防虫カーテンなどを取り揃えております。
ご相談に応じさせていただきますのでよろしくお願い致します。

一部でございますが以上の様なご意見・ご指摘をいただきました。いただいたご意見・ご指摘は全て真摯に受け止め改善してまいります。

どうぞこれからも、忌憚のないご指導・ご鞭撻を賜ります様、よろしくお願い申し上げます。

また引き続き、皆様からいただいたご意見等をご紹介しますので、重ねてよろしくお願い致します。

敬具

昨年2月よりアンケート調査を毎月行っております。
引き続きご協力いただければと存じております。

アンケート専用FAXのフリーダイヤルを設置しておりますので、こちらもご利用くださいませ。

お客様アンケート
お問い合わせ専用FAXフリーダイヤル

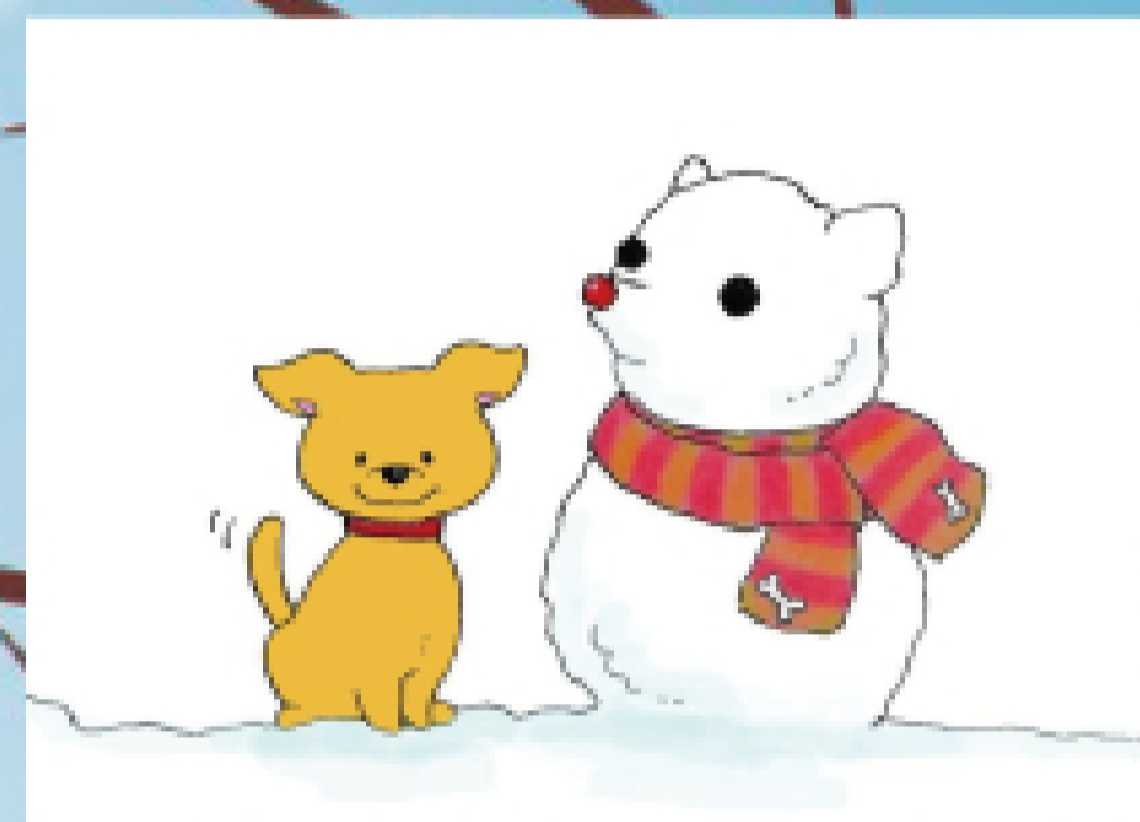
見ないムシ

0120-32-3164

※一都八県以外のご利用出来ません。
(東京・神奈川・千葉・埼玉・栃木・茨城・群馬・山梨・静岡)

FCC News

2014年12月号 No. 128



Index

お客様アンケートご報告

社長コラム&社員コラム

季節のムシ暦(84)

施工スタッフについてのお知らせ

生活の豆知識

株式会社FCC



〒251-0043

神奈川県藤沢市辻堂元町4-3-32

Tel 0466-31-3164

Fax 0466-31-3174

URL <http://www.fccsystem.co.jp>

E-mail info@fccsystem.co.jp

社長コラム

湘南ではたらく小さな会社の社長のblogより 新空手

今日は昨年に続き社員の新空手の試合でした。
東京武道館です。FCC格闘サークルと言う
ダサい弱そうな名前前でエントリー(笑)



開会式。昨年より多いぞ!



まずはヨッシーです。K3のワンマッチに出ました。
前半に不意にパンチをもらってしまいました。
後半はヨッシーベース。しかし結果はまさかの
ドロー。



次はタクゾー。K3トーナメントの軽量級で出ました。
本選終了後、勝った!と思いました。
しかし旗は1本しか上がりず延長戦へ。

延長はスタミナ勝負です。延長終了、旗は逆に相手に
2本。判定で惜しくも敗退。技術では負けていません。
良い闘いでした。なので罰のスキンヘッドは免除。

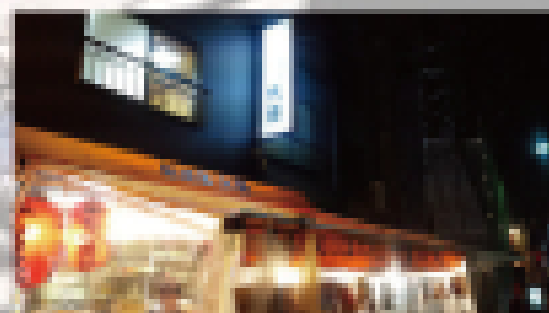
頼みの綱はGOです。K3軽中量級のトーナメント
です。得意のフックが冴えてました!



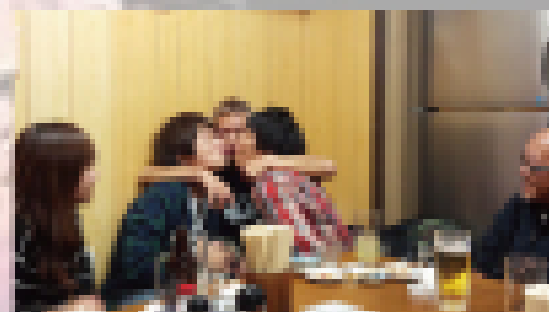
で、結果は…



準優勝!!良くがんばりました。。まあ～結果はいろいろ
ですが、みんな一つ心が強くなったと思います。
ナイスファイトに私は嬉しいです!!
で、懇親会ですね。



浅草です。もちろん「大勝」です。



はしゃぎ過ぎ。きもっ(笑)
応援してくれた他のメンバーにも感謝!
みんなお疲れ〜っ!!

パソコンからFCCブログをチェック!!

FCCニュースに掲載しているブログ記事以外にも
FCCホームページには多くのブログがあり、業務
の事や日常の出来事など様々なエントリーが投稿
されています。

気になった方は

ゴキブリ駆除 FCC

検索

トップページから全てのブログにアクセスす
る事が出来ます。

FCC社員コラム

S係長の東奔西走日誌

争わないこと

先日読んだ本の中に人生の幸せのポイントと
して「争わないこと」が挙げられていました。

争いは負けた方に遺恨やわだかまりが残り、
後味の悪いものになってしまう。悪い例の
代表が戦争です。

勝ち負けはスポーツの世界だけでいい。
人間も企業も各々に良い所があり、優劣は
つけてはいけない。

大切なのは各々の良い所を活かして共存する
事だと書かれていました。勝負をするなら他人
やライバル企業ではなく、自分自身と勝負する。
自分との勝負なら遺恨やリベンジなどありませ
ん。

内容としては、昨日の自分に勝つ。昨日の自分
より少しでも人間として成長することだそう
です。普段考えた事ありませんでした。

これまで競争社会で生きてきたので無理も
ありません。確かにこれだと周りを傷つけたり
迷惑をかけたりしません。

只、実行してみると難しい。勝ち負けを判断する
のは自分ですし、果たして昨日よりも勝っている
のか負けているのか?

時には人間なので調子が悪い日もあります。
但し、とても共感できる事ですので常にこの
気持ちを持ち続けようと思います。

季節のムシ暦 84

株式会社FCC 顧問 医学博士・農学博士 林 晃史

ムシ達の冬籠りの時季がやって来た

今年も異常気象で慌てふためかされて来たが、今山々は錦秋に満ちて観る人々の心を和ませている。しかし、此処には越冬の為に集団で移動し、人を困らせる虫達も居る事を知る人は、そんなに多くは無いだろう。

さて、こんな虫達はどんな冬越しをし、どのように寒さに耐えて春を待つのか、身近を探ってみよう。この時季、生活の場の「衛生害虫」と称する、ハエや蚊などの虫達の姿はめっきりと減ったが、まだチンダウムシとかナンキンムシ（正しくは、トコジラミと云う）と呼ばれる虫が頑張って居るようだ。

だが、このような状況は、温暖化と云う環境の変化よりも流通の発達や移動手段の国際化が、背景にありそうだ。これから冬がやって来ると自然界の虫達は、それぞれの潜み場所を探し、形や姿を変えて越冬に入る。それは、卵であったり幼虫であったり、あるいは成虫であったりするが、巧みに春の到来を待つのだ。

郊外の冬場の林では、常緑樹に小型で美しい「蝶」、ウラギンシジミが成虫体でじっと隠れ住み、春を待っているのに気付く。また、同じチョウの仲間でもゴマダラチョウと云う蝶は、食草の近くで幼虫体で来るべき春を待つようだ。

同じチョウでも、こんなに違うのはなんとも自然の不思議に感じ入る思いだ。しかし、同じ虫達でも成虫で越冬する厄介な虫は、自然の山野から秋口に集団で移動し、家屋などに侵入するカメムシ類である。

問題を越し、有名なのはマルカメムシやクサギカメムシなどである。この虫は、外敵から身を守るために悪臭を放つが、これは「防御物質」と称するものである。しかし、此の悪臭は人を困らせる。人は、この虫を「不快虫」と称して忌み嫌うが、虫にとっては厳しい冬を耐え、春を待つための移動、自然の営みなのである。

カメムシの害はその昔、マルカメムシが徳島市で11月初旬から中旬に大発生し、住宅に侵入して有名になった。北海道では、スコットカメムシが例年問題をおこして居り、中国、四国、九州の都市では、ツヤアオカメムシが問題を起こしている。また富山県など北陸地方では、クサギカメムシが古くから問題虫で、その対策に負荷している。

カメムシは、英名を“プラント・バグ（植物のナンキンムシ）”と云い、世界的な悪虫のようだ。この虫は、分類学的には、半翅目に属するもので、衛生害虫のナンキンムシと同じ仲間である。こんな悪虫ばかりでは無く、人に迷惑をかけない、冬の風物詩の越冬虫もいる。これは枯木の小枝に産みつけられたカマキリの「卵」である。

このカマキリは、カマキリ目に属し世界でおおよそ2000種が知られている。その生活史は、卵期、幼虫期、成虫期をたどる不完全変態の虫である。成虫は、前脚が鎌状で逆三角形の頭部、長い前胸を持つ特徴的な体型で、愛嬌のある虫である。ことに、翅を扇状に広げて威嚇する様子は、なんとも珍妙で面白い。

食性、餌は、肉食性で大型の食肉昆虫やクモ、カエル、トカゲなどの小動物を捕食する元気者である。面白いのは、生きたものを食べるが、死んだ動かないものは食べないことである。なんとなく、粋を感じさせる食性である。

また、餌が無くなると共食をする程、生食に徹しているからすさまじい。なお私達が、よく眼にするのは、オオカマキリやハラビロカマキリである。カマキリは、このように個性的なもので、人は色々と期待をかけて活用を図ったが、その一つが薬用である。その効用は、次の通りである。

小児の「疳」の薬として、乾燥した成虫を黒焼きにして飲ませると良いと云う。また、小児の「瀉止め」にも効用があると云う。さらに、「桑標蝟（ソウヒョウショウ）」と云う漢方薬があるが、これは桑の枝に産みつけられた卵塊である。これは、精力減退や月経閉止などに効きめがあると云われている。

また、刺のささった時に、成虫や卵塊の黒焼きを唾液で練って、患部に塗ったり、貼ったりすると効果があると云う。なお、この他にカマキリと人間の係りにはいろいろあるようだ。

古来から「蟻螂の斧」と云う故事があって、その昔、齊国の君主、荘公が道をふさいだ一匹のカマキリに道を譲ったと云う話があって、勇気のある虫とされた。

この虫の勇気にあやかるように、戦国期の武士の兜の前立てに用いた例がある。

このような事を思い出しながらカマキリの越冬卵を眺めると冬も楽しいものだ。寒さに向かうと虫達の動きも静かになるが、様々な生き方が見えて、面白い仲間に見える。

【写真説明】

冬越しのために、林野から家屋内に集団で侵入するマルカメムシ。人にとっては迷惑だが、虫にとっては必要なことなのだ。



施工スタッフについてのお知らせ

～FCC社員とるるスタッフの見分け方～

拝啓 晩秋の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、この度はこちらの場所をお借りさせていただきまして、弊社「施工スタッフ」についてのお知らせがございます。

誠に勝手ながら、お目を通していただくと幸いです。

弊社では、害虫・害獣駆除業務を担わせていただいております。

こちらの業務なのですが、現場にお伺いさせていただく「施工スタッフ」は、弊社「株式会社 FCC」の社員とその子会社「株式会社 るるカンパニー」の障がい者就労継続支援A型事業所のるる湘南のスタッフで行っております。

るる湘南のスタッフは軽度の障がいを持った方々がスタッフとして働いております。るる湘南のスタッフは、障がい特性として持っている細やかな作業や集中力を発揮し、ときにFCC社員よりも秀でた能力を発揮し活躍しております。

ですが、るるスタッフは、少々受け答えが不得意な場合もございます。その際はFCC社員がしっかりとフォローに回らせていただきまして、きちんとご対応させていただきます。

その際、弊社ではお客様にお困りいただかないよう、FCCスタッフとるるスタッフが一目でお分かりいただけるようにしております。その目印は、スタッフの作業服の胸元に、それぞれの会社のロゴマークを入れさせていただいております。

FCCスタッフには胸元に緑色で「FCC」とロゴが入っております。またるるスタッフに関しましては、同じく胸元に水色で「るる湘南」とロゴが入っております。※右記写真をご参考下さい。

作業服が何種類かございますが、必ず胸元にはそれぞれのロゴが入っておりますので、そちらをご参考にさせていただきますと、幸いです。

FCCスタッフ、るるスタッフ、両方の良いところを合わせまして、よりお客様のお役に立たせていただけますよう、両者協力してご尽力させていただければと存じます。

引き続きご高配を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

移動着

FCC社員



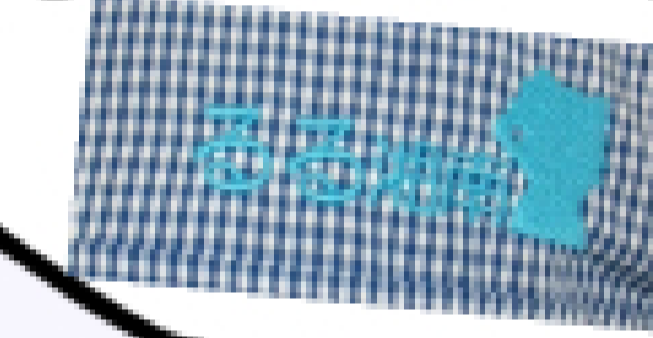
Check!!!



るるスタッフ



Check!!!



作業着

FCC社員



Check!!!



るるスタッフ



Check!!!



生活の豆知識

近年被害が拡大している、トコジラミ

皆さま、こんにちは！さて今回は、「トコジラミ」についてお話させて頂こうかと思っております。日本では50年程前に絶滅したと言われていた「トコジラミ」ですが、海外で大発生し、近年日本でも被害が拡大しております。そんなトコジラミの生態と対策を考えていきたいと思っております！

まず「トコジラミ」ってなんだ！？という所からご説明させて頂きたいと思っております。トコジラミとは、名前に「シラミ」とついています。シラミ目ではなく、カメムシ目に属する寄生昆虫だそうです。

別名「南京(ナンキンムシ)」や「床虫(トコムシ)」とも呼ばれており、人間の血を主に吸血します。見た目は非常に小さく成虫でも5ミリから8ミリ程度です。幼虫になりますと、もっと小さく、1.3ミリ程ですが、成虫ならダニなどと違い目視可能です。

体色は薄黄色や赤褐色で、血を吸うとより濃い茶色になります。幼虫・成虫問わず、全生存期間を通じて栄養分を血液に頼ります。

トコジラミは“はね”がないので、自力では長距離移動はできませんが、人間の荷物または輸送される家具などに取り付くことで、生息範囲を広げることができます。こちらが原因で日本でも被害が増えてきたようです。

メスは1日あたり5~6個の卵を産み、一生の間に500個程度の卵を産みます。25℃の環境下では卵期間が約5日、卵から成虫までの期間が約40日です。だいたいの寿命が10カ月から1年くらいで居間は床板や壁の隙間、ベッドや椅子の中、座布団やカバンなどの縫い目の間、カーテンの重なった部分などに潜んでいて、人目につきません。

夜間になり人間の呼気に含まれる二酸化炭素を感知して出てきて、肌の露出した部分を狙い吸血します。吸血する際に唾液を注入され、それが原因となって、後にひどいかゆみを引き起こします。

近年では、宿に泊まったお客様がトコジラミの被害に合い、仕事ができなかったとして訴訟問題に発展したケースもあり、サービス業を営むオーナー様方の頭を非常に悩ませているのが「トコジラミ」です。

対策としましては、こまめに掃除をする事。特にベッドやベッドマット、布団、ソファ、じゅうたん、畳の隙間、カーテン。狭いところが好きなので、壁と床の間の隙間、引き出しの奥、家具の縫い目などです。

対策もむなしく発生してしまった場合は個人での対処は非常に難しく掃除機で吸うだけでは死にませんし市販の殺虫剤などもあまり効き目がない場合が多いようです。

その部屋にあるものは持ち出さないようにしたり、布団を洗ったり、様々な場所を掃除したりと、かなり大がかりになってしまうので、被害を最小にする為にも専門の業者に依頼するのが一番効果的だと思います。

弊社でも「トコジラミ」の駆除を行っております。お困りの際はお気軽にご相談下さいませ！